

レア様

ママに
なつて♡

授乳 手コキ

支援H



…
〜
♪

時の
よすがに…
♪

灯る
火…
♪

河面に
たゆたう…
♪

記憶の
欠片…
♪





大丈夫……

なぜ
なぜ

何も心配は
要りませんよ

あなたを
傷つけようと
する者は

ここには
いないのですから

らららら……

らららら……



手繰り寄せられた
時と共に結ぎ
果てなまじき
二人で纏うそいきたい……

……あなたの身に
何か起こったのか
おおよそのことは
聞いています

……っ
!?

今この時が
永遠に続けばいいのに
少しだけ
思ってしまう……

この姿……

二

二



…っ そんな
ことより
エーテルガルトや
他のみんなは……っ

.....
そんなことより……?

ベレト……
先の戦いで気が
動いているのですね……

こんなにも
雄々しく猛っ
私の言葉も入ってない
のも無理ありま
せん

……っ!!!
身体が動かない!

でも安心して……
今私があなたを
救済して差し上げます

ポロ

びん

ん

いや!
それは……うあ!!!

……っあ!!
!?!

ふふふ……
気持ちよさそうな
お顔しましたよ

なでなで

いいですよ
もっと気を楽に
しても……

いや……
しかし……

そう遠慮なさらず
に……最近御無沙汰
だったのではう？

それよりも
生徒達は！

強情なのは
イケませんわ
一度猛^{マウ}リを吐き
出してしまいたう



こうやって
頭をなでて……

いい子いい子して
差し上げますね

自こそ細い指が
絡みついて……ン

いい子♡いい子♡

今までよく
がんばりました♡

辛かったらいいのですよ
私の前で晒^{さら}けだして
しまっても

うっっ!!

あなたの頑張りには
感謝しているのです

なぞ♡

なぞ♡

ビーン

ビーン

ビーン

うめあー!!

さっ

ですから……
私の厚意を
受け入れて……

気持ちよくて
身体力が……

ああ……
いい子ですね

抜けて……

もう今だけは
がんばらなくて
いいですよ

いい子♡

いい子♡

おどおど

んんん

ーうらうら

うらうら……

さわさわ



うあー！
ああああ！！

ド
ン
ド
ン

ド
ン
ド
ン

ド
ン
ド
ン

うふ、うふ、どうでしたか？

まだまだ甘え足りないのではないかしら？

……それよりも
エーデルガルト達が

それよりも
エーデルガルト？

いえ……安心
なさい、ベレト

かの者達はセテスが
対応にあたっております

あなたは頑張リ
すぎなのです

今はよくても
その身体に万が一
のことがあったら……

んっ

……

クワ
クワ
クワ
クワ

ぼん♡

この胸は
ベスト

恥ずかし
がらなくても

ですが...

今こっちは私と
あなただけしか
いないのですから

それにこれは
私の気持ちです
もよかしてご迷惑
でしたか？

うっ...!!

ドクドク





あなたには
不快でしたか？

いえ！
そんなことは！

でしたら……

たくさん甘えて
下さっていいのさ
よべト♡

やはり私の
こんな端なり姿は

いっい

ん

さす

さす

ビィ
クィ

ん♡
あん♡

ふふふ♡
本当にすごく
溜まっていたのよね

いいですよ
もっとしゃぶても

おっぱいを飲んで
もっともっと私を
受け入れて♡

……!
これは……!

あ

かぷん

ちゅん

ぴん

頭がボウボウ
してくる……



もっと楽にな
りましょっ？

いいのですあなた
十分すぎるくらい期待
に応えてくれました

シア様のおは
い
甘くておいしい...

んっ♡

そう...

その調子で
シアのおはいで

あなたがせめて
こられなかった母
への愛情を求
めるのです

んっ♡前野郎から
あなたには辛いことが
沢山ありました

ああ...あまこ
きもちいいよ...









さっきよりも
量も勢いも
凄いのですね

...ふふふ

んあああ!!



もう虜に
なってしまう
かもしれない

ふふっ
こうなると
可愛いもの
ですね

ほら...
もっと甘んじ
みて♡

そ
ああん♡

ふめめっ！

ガッ

ちゅうう

ちゅうう

すいゅ

ちゅうう

すいゅ

どき

どき



もうビュッビュッ
してしまっただのね

いいのよ
鬼がままに

おもらしして
も♡私が全て
受け取めます
から

ビュッ
まら♡もって
気持ちよく
なよ♡

んっ
まあ♡

ふぁあ...
あぁあ!!!

ちゅわん

ちゅわん



ほう
怖くないから

もっともっと
甘えて……

ん♡
そう
そう

気持ちのいい
微睡みの中に
身を委ねましょう

お母さんの
おっぱいで気持ち
よくなりましょ

ん♡
いーさね♡

たふ。

たふ。

ちゅ

ちゅ

……い
……い

ん
は
は
は

時の
よすがに……

灯る
炎……

河面に
たゆたう……

記憶の
欠片……

そう
そのまま……

深い深い
眠りについそ……

ベレト
あなたは……

永遠に続く
快樂の中
で私
達を見て
下さい

さあ...

起きて

下さこ...

愛しの

お母様.....

お嬢様













































